Canon

F-720*i*

使用説明書

日本語

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター
（全国共通番号）　050-555-99088

［受付時間］9:00 ～ 18:00
（日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます ）

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター
（全国共通番号）　050-555-90025

［受付時間］　平日　　9:00 ～ 20:00
　　土･日･祝日　10:00 ～ 17:00

（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2007年 6月1日現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

目次

キー配列 3
液晶表示部について 4
機能キーの使い方 5
計算前の注意 5
電源 ON/OFF 6
メモリクリアキー 6
置数関連キー 6
カーソル／編集キー 7
モード選択キー 8
角度単位変換キー 9
基本計算命令関連キー 10
分数関連キー 10
メモリ関連キー 12
ラストアンサキー 13
ランダムキー 14
科学定数キー 14
演算の優先順位 14
演算範囲 15
エラーメッセージ 16
Ma ERROR（仮数部のエラー） 16
Stk ERROR（スタックエラー） 16
Syn ERROR（シンタックスエラー） 16
入力数オーバーエラー 16
Base-N 計算 17
統計計算 19
基本手順 19
統計データのキャンセル 20
統計計算の結果出力 21
統計計算例題 21
確率分布の計算 22
回帰計算 24
回帰データのキャンセル 24
回帰計算の結果出力 24
線形回帰計算例題 25
計算例題 26
分数計算例題 27
2 進／8 進／16 進計算例題 28
基本関数計算例題 31
角度単位モード計算例題 33
応用計算例題 35
関数の入力範囲 37
電池交換の仕方 39
お願いとご注意 39
仕様 40

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。本機は、算式と計算結果を 2 行に表示できる、科学技術計算に最適な計算機です。n 進数の計算、統計計算、線形回帰計算、確率計算、また 10 個の科学定数を利用した計算などができます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

キー配列

カバー開閉について
本体の下部を軸として上下に開閉して下さい。

液晶表示部について

＜モード表示＞

S	： SHIFT キー	
A	： ALPHA キー	
H	： hyp キー	
M	： 独立メモリ	
STO	： 変数メモリ保存	
RCL	： 変数メモリ呼び出し	
SD	： 統計計算モード	
REG	： 回帰計算モード	
D	： ディグリー（度）モード	角
R	： ラジアンモード	角
G	： グラジアンモード	角
BUSY	： ビジー状態（計算中）	
FIX	： 固定小数点モード	
SCI	： 科学指数表示モード	
ENG	： 工学指数表示モード	

機能キーの使い方（SHIFT ALPHA）

1 つの機能キーで複数の機能を行うことができます。

例：

sin⁻¹ D / sin　このキーは、本書では sin、sin⁻¹ または D として表現しています。

sin⁻¹ D / sin
- sin　：「sin」キーとしてはたらきます。
- SHIFT sin⁻¹　：「$\sin^{-1}$」キーとしてはたらきます。
- ALPHA D　：10 進計算モードでは変数メモリ「D」としてはたらきます。
  なお16進計算モードでは、A ～ F は「A ～ F（10 進数の 10 ～ 15）」キーとしてはたらき、この場合は ALPHA を押す必要はありません。

ヒント：

- 本機のキーの色から機能グループを知ることができます。（例：統計、回帰計算キーは緑色）

＜本書における表示記述について＞

計算例の表中では、液晶表示部の上の行の表示内容を“xx”と表記しています。（例：“Ans”）

計算前の注意

- 計算モード
  計算をする前に、SD（統計計算）、REG（回帰計算）、D（度）などの状態表示から現在の計算モードを確認してください。Base-N モード（N 進数計算モード）では指数表示部に d（10 進）、H（16 進）、b（2 進）または o（8 進）が表示されます。
- 初期モード
  操作に困難を感じたときは、“D（度）”のみが表示されている初期状態に戻してください（6 ページ参照）。

＜初期モードへの戻し方＞

1) MODE 1（“CMP”を選択）：通常の計算モード

2) MODE MODE 1（“Deg”を選択）：度数単位モードをディグリー（度）モードに設定

3) MODE MODE MODE 4（“Norm”を選択）：フローティングモード

次の手順でメモリ内容もクリア

SHIFT Mcl ：独立メモリ及び変数メモリＡ～Ｚをクリア

電源 ON/OFF

ON/C OFF

ON/C **（電源 ON/ クリア）**：計算機の電源をオンにします。電源オン時に押すとメモリ以外のレジスタがクリアされます。

- オートパワーオフ機能：
  約 6 分間放置しておくと、電池の消耗を防ぐために自動的に電源がオフになります。

OFF **（電源 OFF）**：電源をオフにします。

メモリクリアキー

Mcl Scl

Mcl **（独立／変数メモリクリア）**：独立メモリおよび変数メモリＡ～Ｚをクリアします。押すと“Mcl”が表示されます。

Scl **（統計メモリクリア）**：統計計算および回帰計算モードで使用する統計メモリをクリアします。押すと“Scl”が表示されます。

置数関連キー

0 ~ 9 **（置数）**：置数に用います。

. **（小数点）**：小数点を入力します。

EXP **（指数）**：指数部を置数するときに押します。

例：35×10^{43} = → 35 EXP 43 = （3.5^{44}）

(−) **（負数）**：負数を置数するときに押します。

例：12×(−3) = → 12 × (−) 3 = （−36.）

◀ **（バックスペース）**：数式入力表示行（上の行）で、最後に入力した数値をクリアします。

例：

入力数値	操　作	表　示
12345	１２４　入力ミス	“124”
	◀	“12”
	３４５	“12345”

カーソル／編集キー

入力した式は液晶表示部の上の行に表示され、カーソルキーを押すとカーソルが移動します。延長マークは隠れた式があることを示しており、カーソルを移動していくと現れます。

式入力中、計算後にかかわらず、DEL（消去）および INS（挿入）で式を訂正できます。また計算後に、リプレイ機能でカーソルを式の最後または先頭に移動し、式の追加や変更を行うこともできます。

例：

1234567 ＋ 889900

◂4567+889900_

延長マーク　カーソル

入力の置換（7 → 0）：

← （“7”が点滅するまで押す）　1234567+8899▸

0 （“0”に置換）　1234560+8899▸

消去（1234560 → 134560）：

← （“2”が点滅するまで押す）　1234560+8899▸

DEL （“2”が消去される）　134560+88990▸

挿入（889900 → 2889900）：

→ （“8”が点滅するまで押す）　134560+88990▸

SHIFT INS （“8”と [ ] が交互に点滅）　134560+[8]990▸

2 （“2”を挿入する）　134560+2[8]99▸

＝ （または ← または →）　134560+28899▸

リプレイ機能（式の追加／変更）：

＝ ← （式の最後にカーソルが移動）　◂560+2889900_

＝ → （式の先頭にカーソルが移動）　134560+28899▸

モード選択キー

[MODE]

MODE で、以下の表に示す各種の計算モードを選択できます。

MODE を 1 回押したときの例：

CMP	BAS	SD	►
1	2	3	

→ ←

◄	REG
	4

CMP を選択するには 1 を押します。REG（回帰計算）を選択するには 4 を押すか、または → を押してから 4 を押します。

操　作	状態表示	モード	
MODE 1	–	CMP	通常計算
MODE 2	d	BAS(*1) (Base-N)	10 進計算(*2)
	H		16 進計算(*2)
	b		2 進計算(*2)
	o		8 進計算(*2)
MODE 3	SD	SD	統計計算
MODE 4	REG	REG	回帰計算
MODE MODE 1	D	Deg	度
MODE MODE 2	R	Rad	ラジアン
MODE MODE 3	G	Gra	グラジアン
MODE MODE MODE 1	FIX	Fix(*3)	固定小数点
MODE MODE MODE 2	SCI	Sci(*4)	科学指数
MODE MODE MODE 3	ENG	Eng	工学指数
MODE MODE MODE 4	–	Norm	フローティング

*1 Base-N モードでは、角度単位モードと表示モードは選択できません。
*2 指数部に表示が現れます。 DHBO を押すと表示が切り換わります。
*3 “Fix 0 ～ 9?”が表示されます。0 ～ 9 を入力して、小数点以下の桁数を指定します。
*4 “Sci 0 ～ 9?”が表示されます。0 ～ 9 を入力して、仮数部の桁数を指定します。

表示モードの例：

操　作	表　示	説　明
MODE MODE MODE 1	“Fix 0~9?”	固定小数点モード
2	(FIX)	小数点以下の桁数：2 (*2)
123456 × .001 =	123.46 (*1)	結果は四捨五入
MODE MODE MODE 2	“Sci 0~ 9?”	科学指数モード
5		仮数部表示桁：5 (*2)
123456 × .001 =	1.2346 02 (*1)	結果は四捨五入
MODE MODE MODE 3	(ENG)	工学指数モード
123456 × .001 =	123.456 00	

*1 指定桁未満は四捨五入されますが、演算結果はフローティングで正しく保持されています。
*2 現在のモードから Norm（フローティング）モードに戻すには、MODE MODE MODE 4 を押します。

角度単位変換キー DRG▸

角度の単位を切り換えるときに使用します。
(DEG) → (RAD) → (GRAD)

• 各単位の関係： $200^{GRAD} = 180° = \pi^{RAD}$

例：180° をラジアンとグラジアンの単位に変換

操　作	表　示（上の行）	表　示（下の行）
MODE MODE 1	“Deg”	(D)
180 DRG▸	“180 → RAD”	(R) 3.141592654
DRG▸	“Ans → GRAD”	(G) 200.

基本計算命令関連キー

[+] [−] [×] [÷] [=] :加減乗除算を行うときにそれぞれ算式通りに押します。

[×] **は次の場合に省略できます：**

- 括弧の前（3（4 + 7），（A + 1）（B + 2）等）
- √，∛，sin，$\sin^{-1}$，log，ln，10^x，e^x などの前（2√5等）
- 固定値、変数の前（2π，3AB 等）

[%] **（パーセント）**：パーセント計算に使用します。
また、四則演算命令が記憶されていない場合に [%] キーを押すと、100 分の 1 に計算された数値が表示されます。

例：123 [ALPHA] [%] [=] (1.23)

[(] [)] **（括弧）**：括弧計算を行うときに使用します。計算機内に保存される「数値＋演算命令の数（レベル）」が 12 以内の計算まで可能です。

例：

入力数値	操　作	表　示
2×(3+4)	2 [(] 3 [+] 4 [)]	
= 14	[=]	14.
1+[(4－3.6+5)	1 [+] [(] [(] 4 [−]	
×0.8－6]×4.2	3.6 [+] 5 [)] [×] .8	
	[−] 6 [)] [×] 4.2	
=−6.056	[=]	−6.056

- [(] と [)] は常にペアで使用します。間違えると“Syn (Syntax) ERROR”が表示されます。

分数関連キー [ab/c] [d/c]

帯分数または仮分数で置数し、計算結果を帯分数で表示できます。

[ab/c] **（分数置数）**：仮分数または帯分数を置数するときに使用します。

仮分数（A/B）の場合：

分子 A → [ab/c] → 分母 B の順に置数

帯分数（A B/C）の場合：

整数A → [ab/c] → 分子B → [ab/c] → 分母Cの順に置数

分数表示は、2/3 のとき “2┌3”、1 2/5 のとき、“1┌2┌5” となります。

例：

置数する数値	操　作	表　示
$\frac{2}{3}$	2 [ab/c] 3 [=]	“2” “2┌” “2┌3” 2┌3
$1\frac{2}{5}$	1 [ab/c] 2 [ab/c] 5 [=]	“1┌” “1┌2┌5” 1┌2┌5

* 計算結果が 10 桁（┌を含む）を超えると、小数点表示されます。

＜分数 ⟷ 小数点表示＞

[ab/c] は分数演算結果の分数表示を、小数表示に変換する機能があります。このキーは分数表示 ⟷ 小数表示の双方向に変換します。

例： $1\frac{2}{3} + 4\frac{5}{6}$ の答を小数表示に変換する。

操　作	表　示
1 [ab/c] 2 [ab/c] 3 [+] 4 [ab/c] 5 [ab/c] 6 [=]	6┌1┌2
[ab/c]	6.5
[ab/c]	6┌1┌2

d/c **（帯分数／仮分数表示変換）**：帯分数と仮分数の変換をするときに使用します。キーを押すごとに、帯分数表示 ⟷ 仮分数表示の双方向に変換します。

例： 仮分数 10/3 を置数し、帯分数に変換する。

操　作	表　示
10 [ab/c] 3 [=]	3⌐1⌐3
SHIFT d/c	10⌐3

メモリ関連キー　[M+] M- MR Mcl [STO] [RCL] ALPHA A ~ Z

メモリの内容は、電源をオフにしても残ります。

* メモリは Base-N モードでは使用できません。

[M+] **（メモリプラス）**：表示数値を独立メモリの内容に加算します。

M- **（メモリマイナス）**：表示数値を独立メモリ内容から減算します。

MR **（メモリリコール）**：独立メモリの内容を呼び出します。

Mcl **（独立／変数メモリクリア）**：独立メモリおよび変数メモリ A ～ Z をクリアします。押すと“Mcl”が表示されます。

[STO] **（ストア）**：[STO] に続いて A ~ Z を押すことにより、変数を 26 個まで変数メモリに記憶できます。

[RCL] **（リコール）**：変数メモリ内容を呼び出します。

ALPHA：ALPHA に続いて A ~ Z を押すことにより、メモリの内容を数式で利用できます。

（例 2 ALPHA A ALPHA B ：2AB）

独立メモリの使用例：

操　作	表　示	メモリ内容	説　明
MODE 1	–		通常計算
SHIFT Mcl	“Mcl”	0	メモリクリア
456 [M+]	(M) 456.	456	456 を置数
123 SHIFT M-	(M) 123.	333	123 を減算
ALPHA MR [=]	(M) 333.	333	呼び出し
5 [×] ALPHA			
MR [=]	(M) 1665.	1665	

変数メモリの使用例：

操　作	表　示	メモリ内容	説　明
SHIFT Mcl	"Mcl"		メモリクリア
12 × 3 =	36.		
STO A	"A=" 36.	A: 36	36 を A に記憶
2			
STO B	"B=" 2.	B: 2	2 を B に記憶
RCL A	"A=" 36.		A を呼び出し
4 + ALPHA A	"4+A/B"		メモリ A、B の内容を呼び出して計算
÷ ALPHA B =	22.		

ラストアンサキー　Ans

最後の計算結果がラストアンサメモリに記憶されます。
SHIFT Ans で値を呼び出して計算に利用できます。

例： 123 ＋ 456 の計算結果を 789 から減算する。

操　作	表示（上の行）	表示（下の行）
123 ＋ 456 =	"123+456"	579.
789 − SHIFT Ans	"789−Ans"	
=	"789−Ans"	210.

連続計算例：

操　作	表示（上の行）	表示（下の行）
123 ＋ 456 =	"123+456"	579.
÷ 10	"Ans/10"	
=	"Ans/10"	57.9

ランダムキー

RND

RND（ランダム）：乱数を発生させるときに使用します。
0.000 ～ 0.999 の範囲の数値となります。

例： SHIFT RND [=] (0.132)

科学定数キー

算式中に以下の科学定数を使用できます。

例：ALPHA 、 [c] の順に押します。

[c]	真空中の光速度：	299792458 [ms^{-1}]
[h]	プランク定数：	6.626176×10^{-34} [J.S]
[G]	万有引力定数：	6.672×10^{-11} [Nm^2kg^{-2}]
[e]	素電荷：	$1.6021892 \times 10^{-19}$ [C]
[me]	電子の質量：	9.109534×10^{-31} [kg]
[u]	1 原子の質量：	$1.6605655 \times 10^{-27}$ [kg]
[NA]	アボガドロ定数：	6.022045×10^{23} [mol^{-1}]
[k]	ボルツマン定数：	1.380662×10^{-23} [$J.K^{-1}$]
[Vm]	理想気体の標準体積：	0.02241383 [m^3mol^{-1}]
[g]	重力加速度：	9.80665 [ms^{-2}]

例： 1 秒間に光は何回地球を回るか。

1 × c ÷ 40000 [km] = → 1 [×] ALPHA [c] [÷] 40000000 [=]

(7.49481145)

演算の優先順位

本機は演算の優先順位を自動的に判断するため、計算式通りにキー操作をしていけば正しい演算結果が得られます。演算の優先順位は次のようになります。

1） 括弧
2） A タイプ関数（数値入力後に関数キーを押す）：
x^2, x^{-1}, x!, %, D°M´S″
3） ベキ乗／ルート： y^x, $\sqrt[x]{\ }$
4） 分数： a b/c

5) 定数直前の乗算記号省略タイプ：
2π, 2ππ, 3A, 5Vm, πA 等
6) B タイプ関数（数値入力前に関数キーを押す）：
$\sqrt{\ }$, $\sqrt[3]{\ }$, sin, $\sin^{-1}$, $\sinh^{-1}$, log, ln, 10^x, e^x, (–), NEG, NOT 等
7) B タイプ関数直前の乗算記号省略タイプ：
2sin5, Alog3 等
8) 順列、組合せ： nPr, nCr
9) ×, ÷
10) +, −
11) AND
12) OR, XOR, XNOR
13) =, M+, M–, STO, DATA, CD, → xy, → rθ, DRG →

＜スタックメモリ ＞

優先順序にもとづいて演算処理を行う際、優先順序が低いものはいったんスタックメモリに保存されます。スタックメモリは 12 レベルまで保存できます。

演算範囲

演算結果の行（下の行）には仮数 10 桁、指数 2 桁まで表示できますが、内部では仮数部は 12 桁で計算をしています。

演算範囲： $\pm 1 \times 10^{-99} \sim \pm 9.999999999 \times 10^{99}$, 0

エラーメッセージ

オーバーフローや入力ミスがあった場合、エラーメッセージが現れます。[ON/C] を押すとエラーメッセージが消えます。

Ma ERROR（仮数部のエラー）

次のいずれかの操作で“Ma ERROR”が表示されます。

- 演算結果が許容範囲（$\pm 9.999999999 \times 10^{99}$）を超えた。
- 関数計算で、演算範囲を超える計算を行った。
- 除数が 0 の除算を行った。

Stk ERROR（スタックエラー）

スタックメモリのスタックレベルが 12 を超えると“Stk ERROR”が表示されます。算式を簡単にするか、アンサメモリや変数メモリを使ってスタックレベル数を減らしてください。

Syn ERROR（シンタックスエラー）

入力した算式にエラーがあると“Syn ERROR”が表示されます。[ON/C] を押してエラーをクリアし、[←] または [→] を押して算式を訂正してください。

入力数オーバーエラー（▮ 点滅）

算式入力時、キーを押す回数が 100 を超えると“▮”カーソルが点滅します。算式を簡単にしてください。

- [SHIFT] [sin] や [ALPHA] [%] などの組み合わせは1回に数えられます。

Base-N 計算

DHBO BLOCK AND OR XOR XNOR NOT

Base-N モード（n 進数計算モード）では、10 進数／ 16 進数／ 2 進数／ 8 進数の変換、計算および論理演算ができます。Base-N モードでは以下のキーを使用します。

注意：

Base-N モードでの 10 進数（d 表示）は、主に表記法（16 進数／ 2 進数／ 8 進数）を変換するために使用します。このため、通常の10進数計算には使用しないでください。

0 ~ 1 **(2 進数置数)**：2 ～ 9 は使用できません（Syn ERROR が出る）。

0 ~ 7 **(8 進数置数)**：8、9 は使用できません（Syn ERROR が出る）。

0 ~ 9 、 A ~ F **(16 進数置数)**： A ~ F は 10 進数の 10 ～ 15 に相当します。

NEG **(負符号)**：論理的負符号

例：–11 → SHIFT NEG 11

DHBO **(n 進数選択)**：キーを押すと、d（10 進）→ H（16 進）→ b（2 進）→ o（8 進）と変わります。

BLOCK **(ブロック選択)**：2 進／ 8 進数演算時は演算結果が 10 桁を超えるため、いくつかのブロックに分割されます。このキーを押すたびに、各ブロックは次ページの「例 1」に示すように表示されます。

AND **(論理積)**、 OR **(論理和)**、 NOT **(否定)**、 XOR **(排他的論理和)**、 XNOR **(排他的否定論理和)**

＜ Base-N モードと演算結果の桁数＞

記数法	桁　数
2 進数	最大 32 桁（8 × 4）‥‥ 4 ブロック
8 進数	最大 11 桁（8 ＋ 3）‥‥ 2 ブロック
10 進数	最大 10 桁
16 進数	最大 8 桁

例 1: $ABCD_{16} \times 12E_{16}$ の演算結果を、2 進数と 8 進数に変換

操　作	表　示	説　明
MODE 2	d	10 進数
DHBO	H	16 進数
A B C D ×		
12 E =	$00CAAbd6^{H}$	
DHBO	11010110^{1b}	2 進数（第 1 ブロック）
SHIFT BLOCK	10101011^{2b}	第 2 ブロック
SHIFT BLOCK	11001010^{3b}	第 3 ブロック
SHIFT BLOCK	00000000^{4b}	第 4 ブロック
DHBO	62525726^{1o}	8 進数（第 1 ブロック）
SHIFT BLOCK	000^{2o}	第 2 ブロック
SHIFT BLOCK	62525726^{1o}	第 1 ブロックに戻る

* 第 1 ブロックが最下位のブロックです。
* 16 進数の B と D はそれぞれ“b”と“d”と表示されます。

例 2: 1100_2 AND 1010_2 を演算

操　作	表　示	説　明
MODE 2	d	10 進数
DHBO DHBO	b	2 進数
1100 SHIFT AND 1010		
=	00001000^{1b}	第 1 ブロック

＜参考－ 2 の補数による減算＞

内部計算では、数値に＋ / －の符号をつけずにマイナスの数値は補数で表現します。減算は引く数の補数を加算して行います。

＜Base-N モードでの演算範囲＞

記数法	演算範囲
2 進数	正：01111111111111111111111111111111 ≧ x ≧ 0 負：11111111111111111111111111111111 ≧ x ≧ 10000000000000000000000000000000
8 進数	正：17777777777 ≧ x ≧ 0 負：37777777777 ≧ x ≧ 20000000000
10 進数	正：2147483647 ≧ x ≧ 0 負：–1 ≧ x ≧ –2147483647
16 進数	正：7FFFFFFF ≧ x ≧ 0 負：FFFFFFFF ≧ x ≧ 80000000

統計計算

計算前に、統計メモリを必ずクリアしてください。

基本手順

1) MODE 3 を押して統計計算モードに入ります。“SD”が点灯します。
2) ALPHA Scl を押して統計計算メモリをクリアします。“Scl”が表示されます。
3) 最初のデータを入力し DATA を押します。
4) データ入力終了後、統計計算キー（例： $\bar{x}$ ）を押し、 = を押します。統計計算を続ける場合は、2)～4) を繰り返します。

例： データ 5, 20, 20, 25, 25, 25 を入力する。

操　作	表　示	説　明
MODE 3	(SD)	統計計算モード
ALPHA Scl	“Scl”	統計メモリをクリア
5 DATA	“n=”1.	データ 1 入力
20 DATA	“n=”2.	データ 2 入力
DATA	“n=”3.	データ 3 入力 (*1)
25 SHIFT : 3 DATA	“n=”6.	データ 4 ～ 6 入力 (*2)
SHIFT $\bar{x}$ =	x̄ 20.	平均値計算
SHIFT n =	n 6.	資料数計算

*1 同一データの場合は、DATA を押すだけで入力できます。

*2 データ入力を繰り返す場合は、SHIFT : ［繰り返し回数］の形式で入力します。

統計データのキャンセル

CD

CD を押してデータ入力をキャンセルします。

例 1: 1 DATA 2 DATA 3 DATA SHIFT CD （データ“3”をキャンセル）

例 2: 1 DATA 2 DATA 3 DATA 2 SHIFT CD （データ“2”をキャンセル）

例 3: 1 DATA 2 DATA 3 SHIFT : 4 DATA SHIFT CD
（データ“3”を 4 個キャンセル）

例 4: 1 DATA 2 SHIFT : 4 DATA 3 DATA 2 SHIFT : 4 SHIFT CD
（データ“2”を 4 個キャンセル）

統計計算の結果出力

出力内容	操　作	算　式
資料数	SHIFT n	--
平均値	SHIFT $\bar{x}$	$\bar{x} = \sum_{i=1}^{n} xi / n$
標本標準偏差	SHIFT $x\sigma^{n-1}$	$x\sigma^{n-1} = \sqrt{\sum_{i=1}^{n} (xi-\bar{x})^2/(n-1)}$
母標準偏差	SHIFT $x\sigma^{n}$	$x\sigma^{n} = \sqrt{\sum_{i=1}^{n} (xi-\bar{x})^2/(n)}$
標本標準分散	SHIFT $x\sigma^{n-1}$ x^2	$V^{n-1} = \sum_{i=1}^{n} (xi-\bar{x})^2/(n-1)$
母分散	SHIFT $x\sigma^{n}$ x^2	$V^{n} = \sum_{i=1}^{n} (xi-\bar{x})^2/n$
総和	SHIFT Σx	$\sum x$
二乗総和	SHIFT Σx^2	$\sum x^2$

統計計算例題

パーティで大サイズのピザを 20 個買った。大サイズの直径は 30cm と言われているので測ってみた。その結果は次の通りだった。

ピザの直径（cm）	代表値（cm）	個　数
27.6 ~ 28.5	28	2
28.6 ~ 29.5	29	4
29.6 ~ 30.5	30	5
30.6 ~ 31.5	31	6
31.6 ~ 32.5	32	3
		（合計 20）

操　作	表　示	説　明
MODE 3	(SD)	統計計算モード
ALPHA Scl	“Scl”	統計メモリのクリア
MODE MODE MODE 1 4	“Fix 0~9?” (FIX)	小数桁指定 4 と指定
28 DATA DATA	“n=” 2.0000	28 が 2 個
29 SHIFT : 4 DATA	“n=” 6.0000	29 が 4 個
30 SHIFT : 5 DATA	“n=” 11.0000	30 が 5 個
31 SHIFT : 6 DATA	“n=” 17.0000	31 が 6 個
32 SHIFT : 3 DATA	“n=” 20.0000	32 が 3 個
SHIFT n =	20.0000	資料数
SHIFT $\bar{x}$ =	30.2000	平均値
SHIFT Σx =	604.0000	総和
SHIFT Σx^2 =	18270.0000	二乗総和
SHIFT $x\sigma^{n-1}$ =	1.2397	標準偏差
SHIFT $x\sigma^{n}$ =	1.2083	母標準偏差

確率分布の計算

DISTR

統計／回帰計算モードでデータ入力後、確率関数 P(t)、Q(t)、R(t) の値を求めることができます。t は正規分布を標準化したときの変数であり、$t=\frac{x-\bar{x}}{x\sigma^n}$ で表されます。

$$t=\frac{x-\bar{x}}{x\sigma^n}$$

x ： 変数

$\bar{x}$ ： 資料数の平均

$x\sigma^n$ ： 標本標準偏差

P(t)： x 以下の確率

Q(t)： x 以下～平均値以内の確率

R(t)： x 以上の確率

$$P(t)=\frac{1}{\sqrt{2\pi}}\int_{-\infty}^{a} e^{-\frac{x^2}{2}}\,dx$$

$$Q(t)=\frac{1}{\sqrt{2\pi}}\int_{0}^{a} e^{-\frac{x^2}{2}}\,dx$$

$$R(t)=\frac{1}{\sqrt{2\pi}}\int_{a}^{\infty} e^{-\frac{x^2}{2}}\,dx$$

例： 上述のビザの問題（$\bar{x}$=30.2, $x\sigma^n$=1.2083）を使い以下を求める。

1) ピザの直径が 29 cm 以下の確率
2) ピザの直径が 32 cm 以下～平均値以内の確率
3) ピザの直径が 33 cm 以上の確率

No.	操　作	表　示	
	SHIFT Mcl	“Mcl”	
1	29 SHIFT DISTR 4 [=]	“29→t”	-0.9931
	[M+] [ON/C]		
	SHIFT DISTR 1 ALPHA MR [)] [=]	“P(Mr)”	0.1603
	[ON/C]		
	SHIFT Mcl [ON/C]		
2	32 SHIFT DISTR 4 [=]	“32→t”	1.4897
	[M+] [ON/C]		
	SHIFT DISTR 2 ALPHA MR [)] [=]	“Q(Mr)”	0.4319
	[ON/C]		
	SHIFT Mcl [ON/C]		
3	33 SHIFT DISTR 4 [=]	“33→t”	2.3173
	[M+] [ON/C]		
	SHIFT DISTR 3 ALPHA MR [)] [=]	“R(Mr)”	0.0102

回帰計算

計算前に、統計メモリを必ずクリアしてください。
データ入力方法および入力キャンセル方法は、基本的に統計計算と同様ですが、回帰計算ではデータは常にペアで入力します。

例： データ（10, 20)、(10, 20)、(30, 40)、(30, 40)、(30, 40）を入力する。

操　作	表　示	説　明
MODE 4	(REG)	回帰計算モード
ALPHA Scl	“Scl”	統計メモリのクリア
10 [,] 20 [DATA]	“n=” 1.	データ 1 入力
[DATA]	“n=” 2.	データ 2 入力
30 [,] 40 SHIFT [:] 3 [DATA]	“n=” 5.	データ 3 ～ 5 入力

回帰データのキャンセル　CD

統計計算時と同様に、CD を押してデータ入力をキャンセルします。

例 1: 1 [,] 2 [DATA] 3 [,] 4 [DATA] SHIFT CD

（または 3 [,] 4 SHIFT CD）（データ “3, 4” をキャンセル）

例 2: 1 [,] 2 [DATA] 3 [,] 4 SHIFT [:] 4 [DATA] SHIFT CD

（または 3 [,] 4 SHIFT [:] 4 SHIFT CD）

（データ “3, 4” を 4 組キャンセル）

回帰計算の結果出力

算式については統計計算を参照してください。y についても同様の算式となります。

資料数：　SHIFT n

平均値：　SHIFT $\bar{x}$，SHIFT $\bar{y}$

標本標準偏差：SHIFT $x\sigma^{n-1}$，SHIFT $y\sigma^{n-1}$

母標準偏差：　SHIFT $x\sigma^{n}$，SHIFT $y\sigma^{n}$

標本標準分散：SHIFT $x\sigma^{n-1}$ [x^2]

母分散：　SHIFT　$x\sigma^n$　x^2

総和：　SHIFT　Σx，　SHIFT　Σy

二乗総和：　SHIFT　Σx^2，　SHIFT　Σy^2

積和：　SHIFT　Σxy

線形回帰計算例題

線形回帰での回帰式は y=A+Bx である。
温度と気圧の関係は下表である。表より回帰項 A、係数 B および相関係数 r を求めよ。次に、得られた回帰式をもとに 18 ℃における気圧および 1000hPa における温度を求めよ。なお、ここで得られた値 A、B はそれぞれ変数メモリ A、B に保存される。

温　度	気　圧
10 ℃	1003 hPa
15 ℃	1005 hPa
20 ℃	1010 hPa
25 ℃	1011 hPa
30 ℃	1014 hPa

操　作	表　示		説　明
MODE 4		(REG)	回帰計算モード
ALPHA Scl	“Scl”		統計メモリのクリア
10 , 1003 DATA	“n=”	1.	データ入力
15 , 1005 DATA	“n=”	2.	
20 , 1010 DATA	“n=”	3.	
25 , 1011 DATA	“n=”	4.	
30 , 1014 DATA	“n=”	5.	
RCL A =	“A”	997.4	回帰項
RCL B =	“B”	0.56	回帰式の係数
RCL SHIFT r =	“r”	0.982607368	相関係数
18 SHIFT $\hat{y}$	“$\hat{y}$”	1007.48	18 ℃での気圧
1000 SHIFT $\hat{x}$	“$\hat{x}$”	4.642857143	1000hPa での温度

計算例題

＜初期モード設定－“D”のみ点灯＞

計算モード：　10 進

[MODE] 1 を押す。

角度単位モード：度

[MODE] [MODE] 1 を押す。

表示モード：　フローティングモード（Norm）

[MODE] [MODE] [MODE] 4 を押す。

加減算

8+3+5.5=16.5	8 [+] 3 [+] 5.5 [=] (16.5)
−4+7−2=1	[(−)] 4 [+] 7 [−] 2 [=] (1.)

乗除算

3.6×1.7=6.12	3.6 [×] 1.7 [=] (6.12)
592÷4.8	592 [÷] 4.8 [=]
=123.3333333	(123.3333333)

混合計算

3+5×7=38	3 [+] 5 [×] 7 [=] (38.)
6×9+3÷2=55.5	6 [×] 9 [+] 3 [÷] 2 [=] (55.5)

指数数値の計算

$(321\times10^{-14})\times(65\times10^{28})$	321 [EXP] [(−)] 14 [×]
$=2.0865\times10^{18}$	65 [EXP] 28 [=] (2.0865^{18})

括弧計算

3+[(4−3.6+5)×	3 [+] [(] [(] 4 [−] 3.6
0.8−6]×4.2	[+] 5 [)] [×] .8 [−]
=−4.056	6 [)] [×] 4.2 [=] (−4.056)

パーセント計算

200×17%=34	200 [×] 17 ALPHA % [=] (34.)
$\frac{456}{789}$×100=	456 [÷] 789 ALPHA % [=]
57.79467681%	(57.79467681)

メモリ計算

	SHIFT Mcl メモリ消去
20×30= 600	20 [×] 30 [M+] (M 600.)
40×50= 2000	40 [×] 50 [M+] (M 2000.)
+) 15×20= 300	15 [×] 20 [M+] (M 300.)
2900	ALPHA MR [=] (M 2900.)
−) 125×40=−5000	125 [×] 40 SHIFT M- (M 5000.)
−2100	ALPHA MR [=] (M −2100.)

構成比計算

	SHIFT Mcl メモリ消去
A 125(25%)	125 [+] 185 [+] 190 [M+] (M 500.)
B 185(37%)	125 [÷] ALPHA MR ALPHA % [=] (M 25.)
C 190(38%)	185 [÷] ALPHA MR ALPHA % [=] (M 37.)
(500)(100%)	190 [÷] ALPHA MR ALPHA % [=] (M 38.)

分数計算例題

$\frac{2}{3}+3\frac{4}{7}-\frac{5}{4}=2\frac{83}{84}$	2 [ab/c] 3 [+] 3 [ab/c] 4 [ab/c] 7 [−] 5 [ab/c] 4 [=] (2⌟83⌟84)
$\left(\frac{3}{5}+2\frac{3}{8}\right)\times\frac{2}{5}\div2-1=-\frac{81}{200}$	[(] 3 [ab/c] 5 [+] 2 [ab/c] 3 [ab/c] 8 [)] [×] 2 [ab/c] 5 [÷] 2 [−] 1 [=] (−81⌟200)

2 進／8 進／16 進計算例題

＜Base-N（n 進数）モードの設定＞

MODE 2 を押して Base-N モードに入り、次に DHBO を押して d（10 進数）、H（16 進数）、b（2 進数）または o（8 進数）を選択します。“d”、“H”、“b” または “o” が表示されます。

2 進計算（BIN）

• 加減算

	MODE 2 (^{b})
10101011+1100+1110 =11000101	10101011 [+] 1100 [+] 1110 [=] (11000101^{1b})
11100011−10101100 =110111	11100011 [−] 10101100 [=] (00110111^{1b})

• 乗除算

11×1001=11011	11 [×] 1001 [=] (00011011^{1b})
1101110÷1010 =1011	1101110 [÷] 1010 [=] (00001011^{1b})

8 進計算（OCT）

• 加減算

	MODE 2 (^{o})
654+321=1175	654 [+] 321 [=] (00001175^{1o})
741−357=362	741 [−] 357 [=] (00000362^{1o})

• 乗除算

56×23=1552	56 [×] 23 [=] (00001552^{1o})
621÷12=50	621 [÷] 12 [=] (00000050^{1o})

• 混合計算

52+63×14=1216	52 [+] 63 [×] 14 [=] (00001216^{1o})

16 進計算（HEX）

• 加減算

	MODE 2 (H)
AAA+BB+C=B71	A A A + B B + C = (00000b71H)
DEF–EFE= FFFFFEF1	D E F − E F E = (FFFFFEF1H)

• 乗除算

FEDC × A9= A83F3C	F E D C × A 9 = (00A83F3CH)
CA11 ÷ DF=E7	C A 11 ÷ D F = (000000E7H)

• 混合計算

(AB+9) × D ÷ F=9C	(A B + 9) × D ÷ F = (0000009CH)

論理演算－2 進数

	MODE 2 (b)
101010 AND 111000=	101010 SHIFT AND 111000 = (00101000 1b)
101010 OR 111000=	101010 SHIFT OR 111000 = (00111010 1b)
111000 XOR 101010=	111000 SHIFT XOR 101010 = (00010010 1b)
111000 XNOR 101010=	111000 SHIFT XNOR 101010 = (11101101 1b)
NOT 101010=	SHIFT NOT 101010 = (11010101 1b)

論理演算－8 進数

	MODE 2 (^{O})
123456 AND 765432=	123456 SHIFT AND 765432 = (00121412^{1O})
123456 OR 765432=	123456 SHIFT OR 765432 = (00767476^{1O})
765432 XOR 123456=	765432 SHIFT XOR 123456 = (00646064^{1O})
765432 XNOR 123456=	765432 SHIFT XNOR 123456 = (77131713^{1O})
NOT 123456=	SHIFT NOT 123456 = (77654321^{1O})

論理演算－16 進数

	MODE 2 (^{H})
789ABC AND 147258=	789 A B C SHIFT AND 147258 = (00101218^{H})
789ABC OR 147258=	789 A B C SHIFT OR 147258 = ($007CFAFC^{H}$)
789ABC XOR 147258=	789 A B C SHIFT XOR 147258 = ($006CE8E4^{H}$)
789ABC XNOR 147258=	789 A B C SHIFT XNOR 147258 = ($FF93171b^{H}$)
NOT 789ABC=	SHIFT NOT 789 A B C = ($FF876543^{H}$)

基本関数計算例題

円周率関数 π

10π	10 SHIFT π =	(31.41592654)

対数関数 log ln

log123=2.089905111	log 123 =	(2.089905111)
ln123=4.812184355	ln 123 =	(4.812184355)

対数平均 ln

$\overline{L} = \frac{4-8}{\ln 4-\ln 8}$	(4 − 8) ÷ (	
=5.770780164	ln 4 − ln 8) =	(5.770780164)

指数関数 e^x 10^x

e^{22} =3584912846	SHIFT e^x 22 =	(3584912846.)
$10^{2.3}$ =199.5262315	SHIFT 10^x 2.3 =	(199.5262315)

二乗 x^2

1.25^2 =1.5625	1.25 x^2 =	(1.5625)

べき乗 y^x

5.43^3=160.103007	5.43 y^x 3 =	(160.103007)
$5^{\frac{1}{4}}$	5 y^x 4 SHIFT x^{-1} =	(1.495348781)

開平 √

$\sqrt{(5+6)\times 7}$ =	√ ((5 + 6) × 7)	
8.774964387	=	(8.774964387)

多乗根 $\sqrt[x]{}$

$\sqrt[5.3]{100}$	5.3 SHIFT $\sqrt[x]{}$ 100 =	(2.384286779)
= 2.384286779		

幾何平均 [$\sqrt[x]{\ }$]

$\bar{G} = \sqrt[4]{1.23 \times 1.48 \times 1.96 \times 2.2}$ $=1.673830182$	4 [SHIFT] [$\sqrt[x]{\ }$] [(] 1.23 [×] 1.48 [×] 1.96 [×] 2.2 [)] [=] (1.673830182)

開立 [$\sqrt[3]{\ }$]

$\sqrt[3]{123} = 4.973189833$	[$\sqrt[3]{\ }$] 123 [=] (4.973189833)

逆数 [x^{-1}]

$\frac{1}{2 \times 3 + 4} = 0.1$	2 [×] 3 [+] 4 [=] [SHIFT] [x^{-1}] [=] (0.1)
$\frac{1}{\frac{1}{3} - \frac{1}{4}} = 12$	[(] 3 [SHIFT] [x^{-1}] [−] 4 [SHIFT] [x^{-1}] [)] [SHIFT] [x^{-1}] [=] (12.)

階乗 [$x!$]

$(4 \times 2 - 3)! = 120$	4 [×] 2 [−] 3 [=] [$x!$] [=] (120.)

双曲線 [hyp]

cosh34 $= 2.917308713 \times 10^{14}$	[hyp] [cos] 34 [=] (2.917308713^{14})
tanh1.23 $= 0.842579325$	[hyp] [tan] 1.23 [=] (0.842579325)

双曲線余割 [hyp^{-1}]

$\sinh^{-1} 1$ $= 0.881373587$	[SHIFT] [hyp^{-1}] [sin] 1 [=] (0.881373587)

順列 nPr

$nPr = \frac{n!}{(n-r)!}$ ${}_5P_3 = \frac{5!}{(5-3)!}$ $= 60$	5 SHIFT nPr 3 = (60.)

組合わせ nCr

$nCr = \frac{n!}{r!\,(n-r)!}$ ${}_5C_3 = \frac{5!}{3!\,(5-3)!}$ $= 10$	5 SHIFT nCr 3 = (10.)

60 進数 → 10 進数変換 °′″

123°45′06″ → 123.7516667°	123 °′″ 45 °′″ 6 °′″ = (123.7516667)

10 進数 → 60 進数変換 →DEG

2.3456 →2°20′44″	2.3456 = SHIFT →DEG (2°20°44)

* 10 桁を超える下位の桁は表示されません（その分は 10 進数で保存されます）。

角度単位モード計算例題

＜角度単位モードの設定＞

MODE MODE 1: 度数（DEG）

MODE MODE 2: ラジアン（RAD）

MODE MODE 3: グラジアン（GRAD）

三角関数 sin cos tan

sin53° =0.79863551	(DEG) sin 53 = (0.79863551)
$\cos\frac{\pi}{6}^{RAD}$ =0.866025403	(RAD) cos (SHIFT π ÷ 6) = (0.866025403)
$\tan 65^{GRAD}$=1.631851687	(GRAD) tan 65 = (1.631851687)

逆三角関数 sin⁻¹ cos⁻¹ tan⁻¹

$\sin^{-1}$ 0.3 =17.45760312°	(DEG) SHIFT sin⁻¹ .3 = (17.45760312)
$\cos^{-1}$ 0.8=36.86989765°	(DEG) SHIFT cos⁻¹ .8 = (36.86989765)
$\tan^{-1}$ 1.5=56.30993247°	(DEG) SHIFT tan⁻¹ 1.5 = (56.30993247)
$\sin^{-1}$ 1=1.570796327 (rad)	(RAD) SHIFT sin⁻¹ 1 = (1.570796327)

余割 x⁻¹

$\text{cosec } x = \frac{1}{\sin x}$ cosec45° =1.414213562	(DEG) sin 45 = SHIFT x⁻¹ = (1.414213562)

度数 → ラジアン変換 DRG▸

60° =1.047197551^{RAD}	(DEG) 60 DRG▸ (1.047197551)

ラジアン → グラジアン変換 DRG▸

2^{RAD} =127.3239545^{GRAD}	(RAD) 2 DRG▸ (127.3239545)

グラジアン → 度数変換 DRG▸

120^{GRAD} =108°	(GRAD) 120 DRG▸ (108.)

直交座標 → 極座標変換 →rθ

(DEG) 1 , √ 3 ALPHA →rθ

"r =" (2.)

→ "θ=" (60.)

← "r =" (2.)

極座標 → 直交座標変換 →xy

(DEG) 2 [,] 60 ALPHA →xy	
	"x=" (1.)
→	"y=" (1.732050808)
←	"x=" (1.)

* 極座標変換において、第 3、第 4 象限上の θ は図のようになります。

応用計算例題

積分回路の問題

スイッチをオンしてから t=56msec 経過後のコンデンサの電圧 Vc は何ボルトか。

$$Vc = Vi\left(1 - e^{-\frac{t}{RC}}\right)$$

$$= 100 \times \left(1 - e^{-\frac{56\times10^{-3}}{1500\times50\times10^{-6}}}\right) = 52.60562649$$

100 [×] [(] 1 [−] SHIFT e^x [(] [(−)] 56 [×] SHIFT 10^x [(−)] 3 [÷] [(] 1500 [×] 50 [×] SHIFT 10^x [(−)] 6 [)] [)] [)] [=] (52.60562649)

代数の問題
二次方程式の解（実数解をもつ場合のみ）

$$4x^2 + 9x + 2 = 0$$

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} = \frac{-9 \pm \sqrt{9^2 - 4 \times 4 \times 2}}{2 \times 4}$$

$$x = \begin{cases} -0.25 \\ -2 \end{cases}$$

9 [x²] [−] 4 [×] 4 [×] 2 [M+] (M) (49.)

[(] [(−)] 9 [+] [√] ALPHA MR [)] [÷] 2 [÷] 4 [=]
(M) (−0.25)

[(] [(−)] 9 [−] [√] ALPHA MR [)] [÷] 2 [÷] 4 [=]
(M) (−2.)

時間の計算
例題 1:

2 時 9 分 56 秒（2° 09′ 56″）に出発して 4 時 18 分 23 秒（4° 18′ 23″）に目的地に着いた。所要時間はいくらか。

4 [°′″] 18 [°′″] 23 [°′″] [−] 2 [°′″] 9 [°′″] 56 [°′″] [=]

SHIFT →DEG (2°08°27)

2 時間 8 分 27 秒

例題 2:

パートタイムの就労時間は次の通りである。合計すると何時間になるか。

- 1 日目： 5 時間 46 分（5° 46′）
- 2 日目： 4 時間 39 分（4° 39′）
- 3 日目： 3 時間 55 分（3° 55′）

5 [°′″] 46 [°′″] [+] 4 [°′″] 39 [°′″] [+] 3 [°′″] 55 [°′″]

[=] SHIFT →DEG (14°20°00)

14 時間 20 分

関数の入力範囲

関　数	入力範囲
sin x cos x tan x	DEG: $\lvert x\rvert < 1\times10^{10}$ RAD: $\lvert x\rvert < \pi/180 \times10^{10}$ GRAD: $\lvert x\rvert < 10/9 \times10^{10}$ ただし tanx は以下： DEG: $\lvert x\rvert \neq 90\ (2n-1)$ RAD: $\lvert x\rvert \neq \pi/2\ (2n-1)$ GRAD: $\lvert x\rvert \neq 100\ (2n-1)$（n は整数）
$\sin^{-1} x$ $\cos^{-1} x$	$-1 \leqq x \leqq 1$
$\tan^{-1} x$	$\lvert x\rvert < 1\times10^{100}$
sinhx coshx tanhx	$-230.2585092 \leqq x \leqq 230.2585092$
$\sinh^{-1} x$	$\lvert x\rvert < 1\times10^{100}$
$\cosh^{-1} x$	$1 \leqq x < 1\times10^{100}$
$\tanh^{-1} x$	$\lvert x\rvert < 1$
ln x log x	$1\times10^{-99} \leqq x < 1\times10^{100}$
e^x	$-1\times10^{100} < x \leqq 230.2585092$
10^x	$-1\times10^{100} < x < 100$
y^x	$y > 0$: $-1\times10^{100} < x\log y < 100$ $y = 0$: $0 < x < 1\times10^{100}$ $y < 0$: $-1\times10^{100} < x\log \lvert y\rvert < 100$ （x は整数または 1/x は奇数）
$\sqrt[x]{y}$	$y > 0$: $-1\times10^{100} < 1/x\cdot\log y < 100\ (x \neq 0)$ $y = 0$: $0 < x < 1\times10^{100}$ $y < 0$: $-1\times10^{100} < 1/x\cdot\log \lvert y\rvert < 100$ （x は奇数または 1/x は整数）
$\sqrt{x}$	$0 \leqq x < 1\times10^{100}$
$\sqrt[3]{x}$	$\lvert x\rvert < 1\times10^{100}$
x^2	$\lvert x\rvert < 1\times10^{50}$
$\frac{1}{x}$	$\lvert x\rvert < 1\times10^{100}\ (x \neq 0)$
n!	$0 \leqq n \leqq 69$（n は整数）
nPr	0　r　n（r と n は整数）結果 $< 1\times10^{100}$
nCr	0　r　n（r と n は整数）結果 $< 1\times10^{100}$

関　数	入力範囲
→ DEG	$\lvert x\rvert < 1\times10^{7}$ $\lvert x\rvert$が範囲を超えると関数実行できない。
x, y → r, θ	$\lvert x\rvert < 1\times10^{100}$, $\lvert y\rvert < 1\times10^{100}$ $\sqrt{x^2+y^2} < 1\times10^{100}$, $\lvert y/x\rvert < 1\times10^{100}$
r, θ → x, y	$0 \leqq r < 1\times10^{100}$ DEG: $\lvert\theta\rvert < 1\times10^{10}$, RAD: $\lvert\theta\rvert < \pi/180 \times10^{10}$, GRAD: $\lvert\theta\rvert < 10/9 \times10^{10}$
DRG→	DEG→　RAD: $\lvert x\rvert < 1\times10^{100}$ RAD→　GRAD: $\lvert x\rvert < \pi/2\times10^{98}$ GRAD→　DEG: $\lvert x\rvert < 1\times10^{100}$
→ BIN → DEC → OCT → HEX	BIN:　正：0 ~ 01111111111111111111111111111111 　　負：10000000000000000000000000000000 ~ 　　11111111111111111111111111111111 DEC:　正：0~ 2147483647 　　負：–2147483647 ~ –1 OCT:　正：0 ~ 17777777777 　　負：20000000000 ~ 37777777777 HEX:　正：0 ~ 7FFFFFFF 　　負：80000000 ~ FFFFFFFF
統計計算	$\lvert x\rvert < 1\times10^{50}$ $\lvert\Sigma x\rvert < 1\times10^{100}$ $n < 1\times10^{100}$ $\Sigma x^2 < 1\times10^{100}$ $\bar{x}$: $n \neq 0$ σ^n: $0 \leqq \frac{\Sigma x^2-\{(\Sigma x)^2/n\}}{n} < 1\times10^{100}$, $n > 0$ σ^{n-1}: $0 \leqq \frac{\Sigma x^2-\{(\Sigma x)^2/n\}}{n-1} < 1\times10^{100}$, $n > 1$
回帰計算	$\lvert x\rvert < 1\times10^{50}$　　$\lvert y\rvert < 1\times10^{50}$ $\lvert\Sigma x\rvert < 1\times10^{100}$　　$\lvert\Sigma y\rvert < 1\times10^{100}$ $\lvert n\rvert < 1\times10^{100}$ $\Sigma x^2 < 1\times10^{100}$　　$\Sigma y^2 < 1\times10^{100}$ $\bar{x}$: $n \neq 0$　　$\bar{y}$: $n \neq 0$ $x\sigma^n$: $0 \leqq \frac{\Sigma x^2-\{(\Sigma x)^2/n\}}{n} < 1\times10^{100}$, $n > 0$ $y\sigma^n$: $0 \leqq \frac{\Sigma y^2-\{(\Sigma y)^2/n\}}{n} < 1\times10^{100}$, $n > 0$ $x\sigma^{n-1}$: $0 \leqq \frac{\Sigma x^2-\{(\Sigma x)^2/n\}}{n-1} < 1\times10^{100}$, $n > 1$ $y\sigma^{n-1}$: $0 \leqq \frac{\Sigma y^2-\{(\Sigma y)^2/n\}}{n-1} < 1\times10^{100}$, $n > 1$ $\lvert\Sigma xy\rvert < 1\times10^{100}$
確率分布計算	$\lvert t\rvert < 1\times10^{50}$ $P(t) \leqq 1$ $Q(t) \leqq 0.5$ $R(t) \leqq 1$

電池交換の仕方

アルカリ電池（LR44）× 2：　約 1000 時間連続表示できます。
電源オン状態で何も表示されないときは、電池を交換してください。
電池交換後または異常動作時は、本体裏面のリセットスイッチを先端の細いもので押して下さい。

電池交換の仕方

リセットの仕方

【電池使用上のご注意】

電池は使い方を誤ると中の液がもれて製品が腐食したり、電池が破裂したりすることがあります。次のことを必ずお守りください。

⚠ 電池の＋／－の向きを正しく入れてください。

⚠ 充電しないでください。

⚠ 絶対に加熱したり、火中に投入したりしないでください。

⚠ 電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

⚠ 使用済みの電池は、火の中に捨てないでください。破裂することがあり、たいへん危険です。

お願いとご注意

⚠ 本機は LSI などの精密電子部品で構成されていますので、次の場所ではご使用にならないでください。
- 直接日光や暖房などによって高温になるところ
- 温度変化の激しいところ
- 湿気、ごみ、ほこりの多いところ

⚠ 本体が汚れたときには乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。有機溶剤（シンナー、ベンジン）は絶対に使用しないでください。

⚠ 液晶表示パネルは、ガラスでできていますので、強く押さえつけないでください。

⚠ 本機を絶対に分解しないでください。
万一、故障したと考えられる場合は本機をお買い上げの販売店、または最寄りのキャノン販売営業所・サービスセンターまで保証書を添えて、ご持参もしくはご郵送ください。

仕様

表示桁数：
指数表示形式 ..... 仮数部 10 桁 + 指数部 2 桁 + 各負符号部 2 桁
浮動小数点方式 ..... 仮数部 10 桁 + 負符号部 1 桁
演算範囲：
(10 進数)..... $\pm 1 \times 10^{-99}$ ～ $\pm 9.999999999 \times 10^{99}$
(2 進法)..... 1111111111111111111111111111111111 ～
0 ～ 0111111111111111111111111111111111
(8 進法)..... 37777777777 ～ 0 ～ 17777777777
(16 進法)..... FFFFFFFF ～ 0 ～ 7FFFFFFF
オートパワーオフ：約 6 分
電源：DC3 V/0.065 mW　アルカリ電池（LR44）× 2 個
電池寿命：約 1000 時間（連続使用）　使用温度範囲：0°～ 40 ℃
外形寸法：幅 79 mm ×奥行 144 mm ×厚さ 11 mm　重量：78 g（電池込み）

* 改良のため、予告なく仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

保証内容

1. 使用説明書に従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または機械交換を無料で行います。
2. 保証期間はお買上げ後本体のみ 1 年間といたします。
3. 保証期間内でも次のような場合は有料となります。
   イ） 取扱い上の不注意、誤用による故障・損傷。
   ロ） 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
   ハ） 不適切な移動・落下などによる故障・損傷。
   ニ） 弊社指定の販売店・サービス店以外で修理・改造が行われた場合の故障・損傷。
   ホ） 本保証書にお買上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書替えられた場合。
   ヘ） 本保証書の提示がない場合。
4. 製品には必ず本保証書を添えて、お買上げ店または弊社サービスセンターまでご持参またはご郵送ください。なお、その場合の交通費・郵送料・その他諸掛りはお客様のご負担となります。
5. 保証期間経過後は規定の修理・交換料金を申し受けます。
6. 本製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。
7. ご転居・ご贈答品等でお買上げ店で修理を受けられない場合は、サービスセンターにご相談ください。
8. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
9. この保証書は本書に明示した保証条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合はサービスセンターにお問合わせください。
10. 修理内容の記録は修理伝票にかえさせていただきます。
11. 保証書は再発行はできませんので、保管にご留意ください。

交換サービスのご案内

お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けするために、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しております。
なお、故障状況により部品交換修理方式を採用させていただく場合がございます。

製品をご郵送くださる場合

1. 保証書にご愛用者名、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等をつけて製品と同封してください。
2. 保証書の保証期間及び、販売店名をご確認ください。無記入の場合は保証期間内でも有料になる場合がありますので、ご注意ください。
3. 製品は緩衝材に包んでボール箱かメールパック（郵送用の袋）に入れ、郵送中の破損・損傷を防ぐようにご配慮ください。